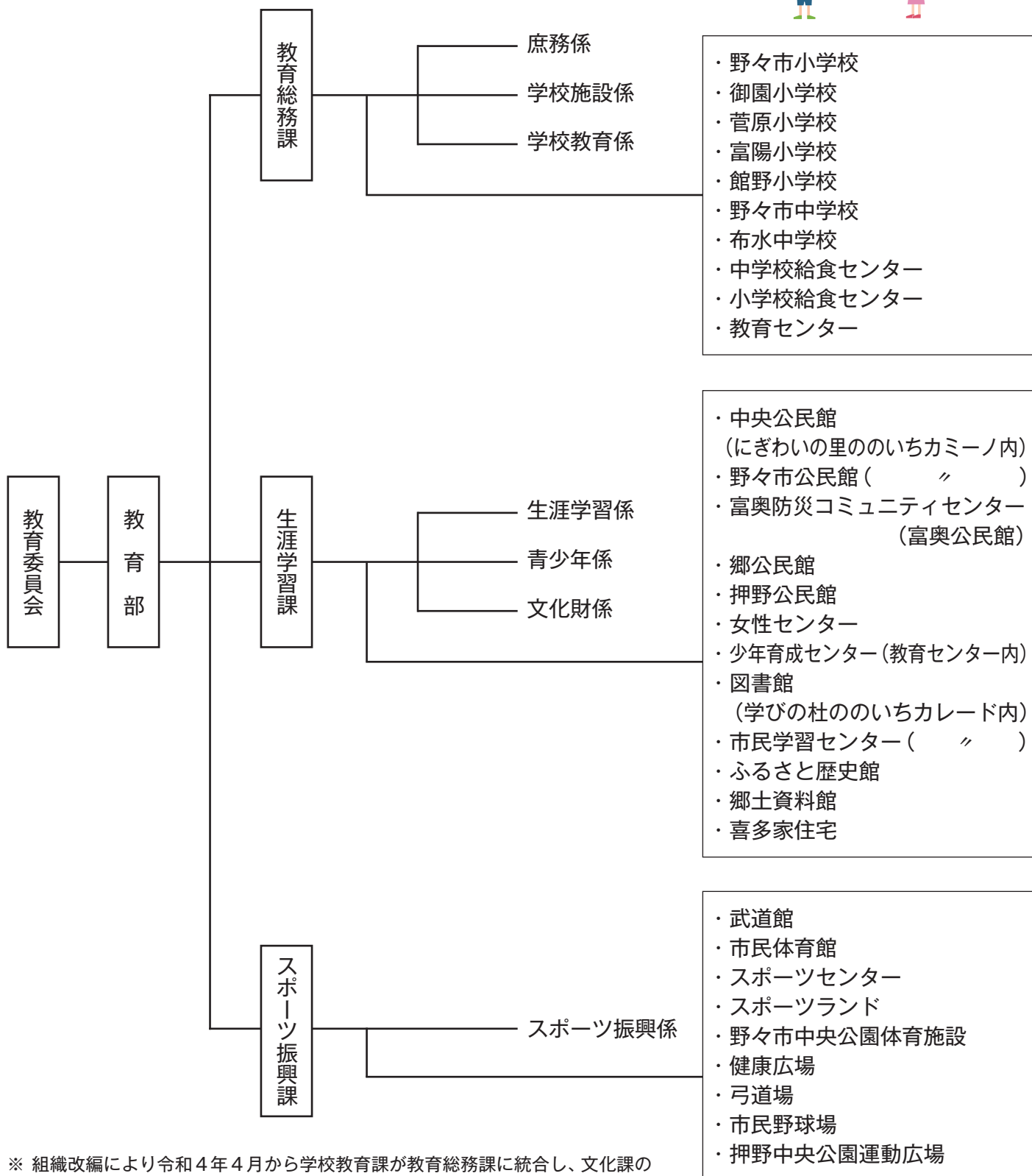


## 第5章 資料編



### 1. 教育委員会機構図



※ 組織改編により令和4年4月から学校教育課が教育総務課に統合し、文化課の文化財係が生涯学習課に統合、文化振興係が市長部局へ改編された。

## 2. 施設一覧

### (1) 学校施設

区分	施設名 (位置)	設置 年月日	敷地面積	建物	構造	規模 (保有面積)
小学校	野々市小学校 (本町五丁目3-1)	昭和36年4月	16,620㎡	校舎 体育館	R 4階 R	8,498㎡ 1,571㎡
	御園小学校 (稲荷四丁目128)	昭和53年4月	19,937㎡	校舎 体育館	R 4階 R	5,815㎡ 1,410㎡
	菅原小学校 (菅原町20-1)	昭和56年4月	17,534㎡	校舎 体育館	R 4階 R	5,755㎡ 1,667㎡
	富陽小学校 (中林五丁目70)	昭和57年4月	21,757㎡	校舎 体育館	R 3階 R	8,572㎡ 1,875㎡
	館野小学校 (押野三丁目71)	昭和59年4月	19,378㎡	校舎 体育館	R 4階 R	5,802㎡ 1,489㎡
中学校	野々市中学校 (三納三丁目1)	昭和31年4月	24,016㎡	校舎 体育館	R 4階 R	7,938㎡ 2,163㎡
	布水中学校 (押野二丁目100)	昭和59年4月	28,262㎡	校舎 体育館	R 4階 R	7,233㎡ 2,199㎡
	中学校給食センター 小学校給食センター (太平寺三丁目126-1)	平成15年4月 平成26年8月	7,238㎡		R 2階 S 2階	1,399㎡ 1,830㎡
	教育センター (本町四丁目21-27)	平成5年3月	546㎡		R 2階	644㎡

※ R：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造



小学校給食センター



野々市小学校



## (2) 生涯学習関係施設

名 称	位 置	延床面積(㎡)	施 設 内 容	開館年月
中央公民館	本町二丁目1-20 (にぎわいの里 ののいちカミーノ内)	3,060.16	ホール、視聴覚室、実習室(2)、 調理室、和室(2)、学習室(3)、 研修室、多目的室(2)	H 31. 4
野々市公民館	中央公民館に同じ			
富奥防災コミュニティ センター(富奥公民館)	中林五丁目3-22	1,489.80	多目的室、和室、調理室、小会議室 集会室、学習室(2)	H 26. 11
郷公民館	田尻町94	820.40	集会室、談話室、学習室(2)、 和室(2)、調理実習室	H 2. 3
押野公民館	押野三丁目70	709.58	集会室(2)、学習室、研修室、 調理実習室、和室(2)	S 61. 3
女性センター	稲荷四丁目155	629.39	相談室、軽運動室、講習室(2)、 調理実習室	S 58. 1
少年育成センター	本町四丁目21-27 (教育センター内)	29.75	事務室	H 5. 3
市立図書館	太平寺四丁目156 (学びの杜ののいち カレード内)	5,695.7	閲覧室(一般・児童・ヤングアダルト)、 図書ボランティア室、学習室、 グループ学習室	H 29. 11
市民学習センター			市民展示室、屋外ギャラリー、 オープンギャラリー、音楽スタジオ、 研修室・会議室、キッチンスタジオ、 創作スタジオ(2)	

## (3) 文化財関係施設

名 称	位 置	延床面積(㎡)	施 設 内 容	開館年月
ふるさと歴史館	御経塚一丁目182	1,124.3	事務室、展示室(3)、ホール、 倉庫(3)、研究室、整理室	H 4. 5
郷土資料館	本町三丁目19-24	611.08	木造瓦葺き平屋(一部2階)・ 展示棟	H 7. 3
喜多家住宅	本町三丁目8-11	1,250.32	主屋、道具蔵、作業場、酒蔵、 前蔵、貯蔵庫	R 2. 10 ※公有化年月

## (4) スポーツ関係施設

施設名	位置	規模(m <sup>2</sup> )	施設内容	開館年月日
市民体育館	下林三丁目97	4,433 駐車場 2,303	大体育室、小体育室トレーニング室、ランニングコース、会議室	S 55. 11
武道館	位川183	1,072	柔道場、剣道場、研修室	S 53. 1
弓道場	太平寺三丁目128	170.91	射場棟、的場棟	S 56. 9
市民野球場 雨天練習場	下林三丁目97	14,754 168 駐車場 822	両翼91.5m中堅120m、 管理棟スコアボード、夜間照明 野球・ソフトボール投球練習用 2面	S 61. 9 S 62. 12
相撲場	下林三丁目97	886	入母屋型屋根付	S 63. 8
野々市中央公園 テニスコート	下林三丁目97	1,600	テニスコート 2面 夜間照明	S 55. 3
野々市中央公園 運動広場	下林三丁目97	9,123	ソフトボール場 1面 夜間照明	S 55. 11
健康広場	上林一丁目180	16,713	ソフトボール場 2面 ジュニア用サッカー場 1面	S 53. 3
押野中央公園 運動広場	押野一丁目339	5,860	ソフトボール場 1面	S 61. 3
スポーツランド	中林五丁目1-1	25,276	プール、研修室、競泳用温水プール25m×15m、 児童用温水プール10.5m×6.3m、 流水プール72m×5m、さわやかホール、 テニスコート4面、夜間照明、 ふれあい広場芝張り多目的広場	H 4. 3
スポーツセンター	押野二丁目30	5,542	アリーナ、サブアリーナ、 ランニングコース、 トレーニングルーム、会議室	H 3. 11



スポーツセンター



市民体育館

### 3. 野々市市教育ユニバーサルプラン策定委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、野々市市教育ユニバーサルプラン策定委員会（以下「委員会」という。）の設置に関し、必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会の諮問に応じ必要な事項を調査審議し、教育ユニバーサルプランの策定について答申する。

(委員)

第3条 委員会は、委員20名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 関係行政機関の職員

3 委員の任期は、委嘱の日から教育ユニバーサルプランの策定が終了する日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、教育長が指名する。

3 副委員長は、委員長が指名する。

4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その会議の議長となる。ただし、最初に開催される会議は、教育長が招集する。

2 委員長は、必要があると認めたときは、事案に関係のある者を委員会に出席させ、事案について意見を述べさせることができる。

(調査・研究部会)

第6条 委員会の審議事項を処理するため、調査・研究部会（以下、部会という。）を置く。

2 部会は、委員10名以内をもって組織する。

3 委員は、教育委員会が委嘱する。

(庶務)

第7条 委員会及び部会の庶務は、教育委員会教育文化部教育総務課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は令和3年3月1日から施行する。



## 4. 委員名簿

### ●策定委員会委員

氏 名	所 属	備 考
川 崎 寧 史	金沢工業大学建築学部建築科 教授	学識経験者
桑 村 佐和子	金沢美術工芸大学美術工芸学部一般教育等 教授	学識経験者
原 田 克 巳	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授	学識経験者
山 本 邦 継	野々市市社会教育委員会 議長	学識経験者
藤 田 雅 顯	野々市市連合町内会 会長	
中 村 昭 一	野々市市文化協会 会長	
宮 川 渉	野々市市体育協会 会長	
後 藤 龍 哉	野々市市子ども会育成連絡協議会 会長	
松 田 高 志	野々市市PTA連合会 代表	
澤 村 昭 子	野々市市女性協議会 会長	
田多野 和 彦	野々市市公民館連合会 会長	～R3.7.31
笠 間 悟	野々市市公民館連合会 会長	R3.8.1～
山 本 善 明	校長会 代表（野々市中学校 校長）	～R3.3.31
石 井 利 幸	校長会 代表（野々市中学校 校長）	R3.4.1～
中 野 淳 子	校長会 代表（富陽小学校 校長）	
東 有 子	市内保育園 代表（富奥保育園 園長）	

○委員長 山 本 邦 継

○副委員長 田多野 和 彦（～R3.7.31）

笠 間 悟（R3.8.1～）



策定委員会



策定委員会  
（一部オンライン開催）

## ●教育委員会事務局

氏 名	所 属	備 考
中 田 八千代	野々市市教育委員会教育文化部 部長	～R3.3.31
山 下 かおり	野々市市教育委員会教育文化部 部長	R3.4.1～
塩 田 健	野々市市教育委員会教育総務課 課長	
松 田 英 樹	野々市市教育委員会参事兼学校教育課 課長	～R3.3.31
古 村 充	野々市市教育委員会参事兼学校教育課 課長	R3.4.1～
松 村 隆 一	野々市市教育委員会生涯学習課 課長	
田 村 昌 宏	野々市市教育委員会文化課 課長	
清 水 実	野々市市教育委員会スポーツ振興課 課長	～R3.3.31
宮 前 茂 喜	野々市市教育委員会スポーツ振興課 課長	R3.4.1～

## ●調査・研究部会委員

氏 名	所 属	備 考
桑 村 佐和子※	金沢美術工芸大学美術工芸学部一般教育等 教授	学識経験者
北 村 暁 成	社会教育委員	
中 江 洋 美	社会教育委員	
榊 原 清 志	野々市市教育センター 所長	～R3.3.31
北 一 也	野々市市教育センター 所長	R3.4.1～
井 沢 友 宏	野々市市教育委員会教育総務課 課長補佐	
山 崎 洋 子	野々市市教育委員会学校教育課 課長補佐	
宮 本 貴 志	野々市市教育委員会学校教育課 課長補佐	
山 崎 京 子	野々市市教育委員会生涯学習課 課長補佐	
久 保 憲 一	野々市市教育委員会文化課 課長補佐	
池 上 直 樹	野々市市教育委員会スポーツ振興課 課長補佐	

○部 会 長 桑 村 佐和子

※策定委員会委員兼務



## 5. 第3次教育ユニバーサルプランの策定経過

期 日	会議名等	内 容 等
R3年 2月 26日	定例教育委員会	○教育ユニバーサルプラン策定の諮問
R3年 3月 17日	第1回策定委員会	○策定委員会委員の委嘱 ○策定委員会へ諮問 ○審議事項 ・第3次プランの策定 ・策定の組織 ・第2次プラン評価、策定の作業日程
R3年 3月 22日	第1回調査・研究部会	○調査・研究部会委員の委嘱 ○審議事項 ・第3次プランの策定 ・策定の組織 ・第2次プラン評価、第3次プランの概要作成に向けた具体的な日程 ・第2次プラン評価方法等 ・第3次プランの概要
R3年 4月 27日	第2回調査・研究部会	○審議事項 ・野々市市の他の計画の評価方法 ・第2次プランの事業評価シート ・第3次プランの概要 ・第2次プラン評価、第3次プランの概要作成に向けた具体的な日程
R3年 6月 1日	第3回調査・研究部会	○審議事項 ・第2次プランの事業評価シート ・第2次プラン事業評価の記載方法 ・今後の日程
R3年 6月 29日	第4回調査・研究部会	○審議事項 ・第2次プランの検証と今後の課題(案) ・第3次プランの施策の展開(案) ・第3次プランの概要(案) ・今後の日程について
R3年 8月 2日	第2回策定委員会	○審議事項 ・第2次プランの検証と今後の課題(案) ・第3次プランの施策の展開(記載案) ・第3次プランの新規事業(案) ・第3次プランの概要(案)

期 日	会議名等	内 容 等
R3年 8月 31日	第5回調査・研究部会	○審議事項 ・ 第2回策定委員会審議内容等の報告 ・ 第2次プランの検証と今後の課題(案) ・ 第3次プランの施策の展開(案) ・ 今後の日程について
R3年 9月 28日	第6回調査・研究部会	○審議事項 ・ 第3次プランの施策の展開(案) ・ 第3次プランの原案
R3年 10月 18日	第7回調査・研究部会	○審議事項 ・ 第3次プランの施策の展開(案) ・ 第3次プランの原案
R3年 11月 1日	第3回策定委員会	○審議事項 ・ 第3次プランの施策の展開(案) ・ 第3次プランの原案
R3年 11月 15日	第8回調査・研究部会	○審議事項 ・ 第3回策定委員会審議内容等の報告 ・ 第3次プランの施策の展開(案) ・ 第3次プランの原案
R3年 11月 25日	定例教育委員会	○教育委員会へ進捗状況の報告 ・ 第3次プランの原案
R3年 12月	市ホームページ	○パブリックコメントの実施 (12月1日から翌年1月4日)
R4年 1月 17日	第9回調査・研究部会	○審議事項 ・ 第3次プラン答申(案)
R4年 2月 7日	第4回策定委員会	○審議事項 ・ 第3次プラン答申(案)
R4年 2月 18日		○教育委員会への答申
R4年 2月 24日	定例教育委員会	○第3次プラン(案)の議決
R4年 3月		○第3次教育ユニバーサルプラン発行

6. 第2次プランの検証

事業区分（最終評価）	A：すでに実施している事業で、今後も継続 B：すでに実施している事業で、さらに充実
------------	--

※ 第2次プランの検証については令和4年3月までの組織体系で記載しています。

◆ 基本目標 1 学校での教育の推進 ◆

基本的施策 1 「確かな学力」を身に付けた児童生徒の育成

施策の内容

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたち一人ひとりに、確かな学力を身に付けられるよう、「基礎的・基本的な知識・技能」、「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」、「学習に取り組む意欲」を育成することをめざしてきました。また、特別に支援を要する子どもへの教育的ニーズを踏まえた適切な指導と支援の充実に努めてきました。

主な成果と課題

整理番号	1－1－1	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります	事業区分（最終評価）																			
担 当 課	学校教育課		A																			
<p>児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着のために、少人数学級の編制、習熟度別少人数授業の実施、教員の専門性を生かした小学校専科教員や教科担任による授業の実施、算数定着度調査の実施を行ってきました。</p> <p>児童生徒の発達の段階に応じた指導体制の工夫が図られた一方で、学習指導要領に示された学びの姿に向けた一層の指導の改善が求められています。</p>																						
<p>第3次プランでは、「1-1-2思考力・判断力・表現力の育成を図ります」と統合し、新学習指導要領に即した指導を実現します。</p>																						
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>1日1時間以上勉強する（小6）</td><td>%</td><td>72</td><td>77 (R1)</td><td>80</td><td>全国学力・学習状況調査</td></tr><tr><td>1日1時間以上勉強する（中3）</td><td>%</td><td>63</td><td>64 (R1)</td><td>70</td><td>全国学力・学習状況調査</td></tr></table>					成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	1日1時間以上勉強する（小6）	%	72	77 (R1)	80	全国学力・学習状況調査	1日1時間以上勉強する（中3）	%	63	64 (R1)	70	全国学力・学習状況調査
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明																	
1日1時間以上勉強する（小6）	%	72	77 (R1)	80	全国学力・学習状況調査																	
1日1時間以上勉強する（中3）	%	63	64 (R1)	70	全国学力・学習状況調査																	
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、全国学力・学習状況調査中止のため、R1年度の数値を記載。																						

整理番号	1-1-2	思考力・判断力・表現力の育成を図ります	事業区分(最終評価)		
担 当 課	学校教育課		A		
<p>児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成のために、学校は探究的な学習の過程を重視するとともに、児童生徒と保護者へ平成25年度からスタートした「野々市市図書館を使った調べる学習コンクール」の啓発を図ってきました。</p> <p>「野々市市図書館を使った調べる学習コンクール」は、令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校休業中に取り組む学習とした事もあり、応募数に大きな伸びが見られていることから、この成果を生かしつつ、今後は授業の中で児童生徒が身に付けた力を活用できるよう工夫し、児童生徒が学習したことを生活の中で生かせないかを考える視点をもたせる必要があります。</p>					
第3次プランでは、「1-1-1基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります」と統合し、新学習指導要領に即した指導を実現します。					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
調べる学習コンクールの応募数	人	471	1,973 (R2)	650	学校教育課調べ

整理番号	1-1-3	学習意欲の向上や学習習慣の確立を図ります	事業区分(最終評価)		
担 当 課	学校教育課		A		
<p>児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の確立を図るために、家庭学習の習慣化をめざした取組を行ってきました。</p> <p>児童生徒の発達の段階に応じた指導体制の工夫が図られ、家庭学習に充実が見られた一方で、目標を立てて計画的に取り組む姿に向けた一層の指導の改善が求められています。同時に、一人一台タブレット端末の活用などによる家庭学習の充実も図る必要があります。</p>					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
家で、自分で計画を立てて勉強する(小6)	%	58	72(R1)	70	全国学力・学習状況調査
家で、自分で計画を立てて勉強する(中3)	%	46	46(R1)	60	全国学力・学習状況調査
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、全国学力・学習状況調査中止のため、R1年度の数値を記載。					

整理番号	1-1-4	小中学校9年間を見通し、発達の段階を踏まえた 学力の育成を図ります	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		A

授業における学び合いの土台となる「聴くこと」について、市立小中学校における共通した生徒指導方針の確立が図られており、その方針のもと指導することで、子どもたちの豊かな学び合いが期待できます。また、小中の接続期において、教員同士の授業の見学や情報交換など丁寧な連携が行われてきました。

今後、引き続き「聴くこと」の指導と小中接続期における連携を深めるとともに、学びの連続性を意識したカリキュラムの調整を図るなどの工夫を行っていきます。

第3次プランでは、「1-3-1小学校と中学校の一貫した教育課程の作成を進めます」と統合し、小中学校で一貫した指導方針のもと、学校ごとの特色を生かした指導が行われるようにします。

整理番号	1－1－5	外国語によるコミュニケーション能力の育成を 図ります	事業区分（最終評価）			
担 当 課	学校教育課		A			
<p>新学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語及び外国語活動の授業が実施できるよう、すべての英語の授業に外国人講師をA L Tとして配置することができました。</p> <p>今後、児童数の増加に合わせて、更なる支援の強化・充実をめざす必要があります。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
外国人講師配置事業		人	4	5 (R2)	5	学校教育課調べ

整理番号	1-1-6	個別の教育的ニーズに対応した特別支援教育の 充実に図ります	事業区分（最終評価）			
担 当 課	学校教育課		A			
<p>障害のある児童生徒に合理的配慮に基づいた適切な支援が実施できるよう、特別支援教育支援員を増員し、配置してきました。このことにより、学校において障害に応じた適切な支援の充実に努めてきました。</p> <p>一方で、特別支援学級に在籍する児童生徒及び通常学級に在籍する障害のある児童生徒の人数が急増しています。適切な支援が実施できるよう、教職員研修を充実させるなど、更なる支援の強化・充実にめざす必要があります。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
特別支援教育支援員の配置数		人	19	23 (R2)	25	学校教育課調べ



## ◆ 基本目標 1 学校での教育の推進 ◆

## 基本的施策 2 // 関わりの中で豊かな人間性を育てる教育の推進

## 施策の内容

子どもたちに豊かな人間性をはぐくむために、「特別の教科 道徳」を要として学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実に努めてきました。また、人と人との関わり合いを重視し、家庭や地域での体験活動、異年齢集団による活動、ボランティア活動、障害のある人や他の国の人との交流活動などを積極的に推進してきました。

## 主な成果と課題

整理番号	1－2－1	規範意識や他人を思いやる心を育む道徳教育を 推進します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	学校教育課		A			
<p>推進モデル校が中心となって、県教育委員会の助言を受けながら道徳科の実践研究を行い、公開研究発表会により市立小中学校における道徳教育の普及・啓発を行いました。</p> <p>今後も県と連携して事業を実施していく必要があります。</p>						
<p>第3次プランでは、「1-2-2他人にやさしい人づくりを育む人権教育を推進します」と統合し、児童生徒に他者への配慮の気持ちを育てる事業として、それぞれの事業を実施していきます。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
人が困っているとき進んで助ける		%	79.5	84.3 (R1)	90	全国学力・学習状況調査
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、全国学力・学習状況調査中止のため、R1年度の数値を記載。						

整理番号	1-2-2	他人にやさしい人づくりを育む人権教育を推進します	事業区分(最終評価)
担当課	学校教育課		A
<p>平成24年度に野々市市子ども議会を開催し、子どもたち自身の手で「野々市市子ども憲章」を作成し、本憲章を具現化するため、各学校で人権教育に取り組みました。</p> <p>今後は、「野々市市子ども憲章の理念」を大切に、より人権尊重の視点に立った学校・学級・授業づくりを推進する必要があります。</p>			
<p>第3次プランでは、「1-2-1規範意識や他人を思いやる心を育む道徳教育を推進します」と統合し、児童生徒に他者への配慮の気持ちを育てる事業として、それぞれの事業を実施していきます。</p>			

整理番号	1-2-3	環境にやさしい人づくりを育む環境教育の充実を図ります	事業区分(最終評価)
担当課	学校教育課		B
<p>実物の太陽光発電システムを見学することにより、その仕組みや働きについて、より興味深く詳細に学習することができました。</p> <p>今後は、SDGsの観点から、太陽光発電システムに限らず環境教育を推進する必要があります。</p>			

整理番号	1-2-4	生徒指導連絡協議会の開催など、 生徒指導の充実を図ります	事業区分(最終評価)
担当課	学校教育課		B
<p>市生徒指導連絡協議会を年2～3回開催し、学校・地域・保護者が同じ目線・基準による声かけや指導を行うことを目的とし、「野々市市生徒指導基準」を策定しました。</p> <p>今後も、協議会等において、学校・地域・保護者の共通理解や情報共有の場を積み重ねる必要があります。</p>			

整理番号	1－2－5	福祉やボランティア活動に関する意識の高揚を図ります	事業区分（最終評価）																				
担 当 課	学校教育課		A																				
<p>校外ボランティア活動を通じて、ボランティア活動の意義を理解し、社会参加を経験することで、人間関係の形成、社会参画、自己実現の三つの資質・能力の育成をめざしました。児童生徒は、進んで他者に奉仕しようとする姿勢をはぐくみ、自己の生き方を見つめ、共に助け合って生きることの喜びを体験しました。</p> <p>今後も事業を継続して行います。</p>																							
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（小6）</td><td>%</td><td>59</td><td>53 （R1）</td><td>70</td><td>全国学力・学習状況調査</td></tr><tr><td>地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（中3）</td><td>%</td><td>84</td><td>61 （R1）</td><td>90</td><td>全国学力・学習状況調査</td></tr></table>						成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（小6）	%	59	53 （R1）	70	全国学力・学習状況調査	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（中3）	%	84	61 （R1）	90	全国学力・学習状況調査
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明																		
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（小6）	%	59	53 （R1）	70	全国学力・学習状況調査																		
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（中3）	%	84	61 （R1）	90	全国学力・学習状況調査																		

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、全国学力・学習状況調査中止のため、R1年度の数値を記載。

資料編

野々市市における生徒指導基準			
野々市市では、大人一人一人が自らの態度や行動が子どもに与える影響の大きさを自覚するとともに、「野々市の子どものための街」の建設計画を踏まえ、時代に即した指導基準を策定していきます。			
項目	小学生	中学生	指導者
1 有害玩具の購入・使用	禁止		禁止
2 火遊び等の危険な遊び、周りに人に迷惑がかかる遊び	禁止		禁止
3 花火・登山・スキー・キャンプ 海泳・川遊泳		成人責任者同伴	成人責任者同伴
4 ネット端末の使用	児童生徒に使用させる場合は、保護者が責任を持ってフィルタリング設定を行い、家庭内での使用ルールを作成する		
5 ネット端末の学校への持ち込み	禁止		禁止
6 自転車乗車時のヘルメット着用	着用を推進	着用	着用を推進
7 子ども同士での校区外の施設利用	市内の公共教育施設・運動施設のみ可 (スカイライン、オアシス、運動場、プールなど)		
8 ゲームセンター・集合型娯楽施設	禁止		禁止
9 まんが喫茶・ネットカフェ	禁止		禁止
10 ゲームコーナー・カラオケボックス 古本中古品販売店・レンタルビデオ店	保護者同伴		保護者同伴
11 飲食店・ショッピングモール・家電量販店	保護者同伴	登下校時は禁止	保護者同伴
12 コンビニ・スーパー・ドラッグストア	保護者同伴	成人責任者同伴	保護者同伴
13 ボウリング場・パチンコセンター	保護者同伴	保護者の許可要	保護者の許可要
14 映画館・演劇・コンサート	保護者同伴		保護者の許可要

生徒指導基準



布水中学校ボランティア

整理番号	1-2-6	情報リテラシー教育の充実を図ります	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		B
<p>「野々市市9年間を見通した情報モラル教育指導計画」を策定し、各学校でそれに基づいて、教職員・ICT支援員・大学等外部講師が連携し、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を指導しました。</p> <p>今後はGIGAスクール構想に対応するために計画を見直していく必要があります。</p>			

整理番号	1-2-7	特別支援学校との交流を推進します	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		A
<p>小学校2校と特別支援学校による学校間及び居住地校交流を行いました。学校間で、児童が互いに理解を深められる機会となりました。</p> <p>今後、市立小中学校の児童生徒と特別支援学校の児童生徒が互いを理解し合える交流及び共同学習の場を確保し続けることが大切であり、継続的に学校間の情報共有を進める必要があります。</p>			

整理番号	1-2-8	深圳小学(中国深圳市)との教育交流を通した 国際理解教育を推進します	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		B
<p>グローバル化が進む社会において、多文化と共生する社会に生きるためのコミュニケーション能力と幅広い視野を持つ人材を育成するために、児童訪問団の派遣を実施してきました。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により訪問を中断しましたが、ビデオレターやオンラインによる交流など、訪問以外の交流の方法を考案し、子どもたちが異文化に触れる機会を継続的に提供できるよう検討していく必要があります。</p>			



デジタルシティズンシップ教育

## ◆ 基本目標 1 学校での教育の推進 ◆

## 基本的施策 3 教育指導体制の充実と教職員の資質向上

## 施策の内容

子どもたちの成長を一貫して見守り、適切な指導を行えるよう、小・中・高校と幼稚園・認定こども園・保育園等との連携事業や交流活動に取り組み、「小1ギャップ」や「中1ギャップ」などの今日的な課題に対する指導体制の充実を図りました。同時に、教員の資質向上や指導法等の研修体制の拡充に取り組みました。

## 主な成果と課題

整理番号	1-3-1	小学校と中学校の一貫した教育課程の作成を進めます	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		A

本市の教育課程の基準を編成したことで、市立小中学校では新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ工夫して教育課程を編成することができました。

今後、教育内容の質を高めるために、児童生徒の姿や地域の現状などに関する調査、各種データ等に基づき、教育課程の改善を図ることが大切であり、各学校が教育課程の編成、実施、評価、改善のPDCAサイクルを確立させる必要があります。

第3次プランでは、「1-1-4小中学校9年間を見通し、発達の段階を踏まえた学力の育成を図ります」と統合し、市立小中学校で一貫した指導方針のもと、学校ごとの特色を生かした指導が行われるようにします。

整理番号	1-3-2	小学校と中学校が連携した生徒指導の充実を図ります	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		A
<p>市小中生徒指導主事会議を年8回開催し、市立小中学校における指導基準の統一について協議したり、校外における問題行動事案に迅速な対応をしたりしました。</p> <p>今後も市立小中学校の生徒指導の「核」として継続し、児童生徒がその場に応じた適切な行動を自分で考えて決定し、実行する自己指導能力を育成します。</p>			

整理番号	1-3-3	小・中・高校と幼稚園・認定こども園・保育園の職員を含めた連携事業および交流を推進します	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		A
小・中・高校と幼稚園・認定こども園・保育園による保育参観及び情報交換の場の確保により、子どもたちに対する一貫性のある教育の推進が図られました。			
第3次プランでは、本事業に「1-3-4授業公開や研究協議により校種間交流の推進を図ります」を統合し、幼児期の教育と小学校の教育との円滑な接続のために、小・中・高校と幼稚園・認定こども園・保育園による保育参観及び情報交換の場を継続して確保し、情報交換の質の充実を図ります。			



整理番号	1-3-4	授業公開や研究協議などにより校種間交流の 推進を図ります	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		A
<p>市立小中学校間で相互に授業参観及び情報交換を行うことで、指導への理解を深め合い、一貫性のある指導につながりました。継続して行うことが、「中1ギャップ」の解消につながると考えます。</p> <p>第3次プランでは、本事業を「1-3-3小・中・高校と幼稚園・認定こども園・保育園の職員を含めた連携事業および交流を推進します」に統合し、より広い視野に立った一貫性のある教育活動の改善・充実を図ります。</p>			

整理番号	1-3-5	今日的な教育課題に対応した指導体制の充実を図ります	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		B
<p>いじめ防止や不登校対策については、教育センターや校内外の関係機関と連携した対応を継続して行ってきました。また、虐待事案などについても、市福祉部局や児童相談所などとの連携が進んでおり、学校を支える機関のネットワークは拡充されています。</p> <p>今後、学校がさらに多様化する子どもたちを支えながら、個別に最適な学びを実現していくために、ハード面とソフト面の両面を充実させていく必要があります。</p>			

整理番号	1-3-6	地域や児童生徒の実態をふまえた 特色ある学校づくりを推進します	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		A
地域の人材や専門性の高い人材を活用し、本物に触れることで、児童生徒は教科学習の本質に触れることができ、学びの質が向上しました。また、外部人材と共に授業を研究・教示することにより、教員の指導力の向上にもつながりました。			
今後も、児童生徒が意欲的に学習に取り組むことのできる分野の探究と、その分野の専門知識を持つ人材を確保し、各学校の特色ある教育活動を支援します。			

整理番号	1-3-7	教職員の資質向上に資する教育センター機能の 充実を図ります	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		A
教育課題の解決に向けて教職員の高い対応力・指導力の向上のために、「プログラミング教育」や「ICT機器の効果的な活用」、「問題行動や発達障害への対応力・指導力の向上をめざした研修」等の充実を図りました。			
教育課題の解決に向けた教職員の資質向上をめざした研修の機会の充実のため、教育の動向を的確にとらえるとともに児童生徒の実態を深く見つめ、授業改善や生徒指導、一人一台タブレット端末を活用した学習や特別支援教育の研修などを行っていきます。			



整理番号	1-3-8	教職員の自主研究への支援を図ります	事業区分(最終評価)
担当課	学校教育課		A

学校では、校内研究計画に基づいて、組織的に継続して学校研究に取り組んでおり、教職員は研究授業を通して自分の授業を見直しています。それに対して、県及び市の指導主事が、教職員への指導・助言を行いました。さらに、「特色ある学校づくり支援事業」により、各学校の教職員の創意工夫を生かした組織的な教育活動を推進しました。

また、教職員は、推進校にて実施された「いしかわ道德教育推進事業」を通して、組織的な研究を進められたとともに、他校の教職員との情報交流の場を持ち、実践を深めました。

今後も、教職員の自主的・自発的な研究に対する指導・助言を充実させ、組織的な取組を通して、教職員が自主的に指導法や児童生徒理解について学べる機会を提供していきます。



市学校教育研究会情報視聴覚部会の研修の様子

## ◆ 基本目標 1 学校での教育の推進 ◆

## 基本的施策 4 教育環境の充実

## 施策の内容

児童生徒が生涯にわたって読書に親しむ基盤をつくるための活動を推進し、学校図書の充実と利用の促進を図りました。教育の情報化の推進に取り組み、児童生徒の情報活用能力の育成や教科指導における効果的なICT活用、校務の情報化を図りました。

## 主な成果と課題

整理番号	1-4-1	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課	
学校図書の充実と利用の促進を図ります		A

「学校司書連絡会」での研修や情報交換をもとにした読書の取組を通して、児童生徒に「ののいち読書100選」を啓発したり、「ののいち読書ノート」を活用したりすることができ、目標を持って継続的に読書に取り組む児童生徒の姿が見られました。

今後は、新しい学習指導要領や教科書に合わせて読書100選を見直したり、一人一台タブレット端末を活用した読書記録の在り方を検討する必要があります。

第3次プランでは、本事業に「1-4-3学校図書館図書の学校間相互利用を推進します」を統合し、「学校司書連絡会」を基点とした図書の学校間相互貸借や、学校における読書環境の整備を推進します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
「国の示す学校図書館図書標準」に対する整備率	%	111	114 (R2)	100	学校図書の充実

整理番号	1-4-2	事業区分（最終評価）			
担 当 課	学校教育課				
心を豊かにする読書活動を推進します		A			
市立小中学校での朝読書や読書ノートの活用、ボランティアや教職員による読み聞かせ活動の実施により、児童生徒の読書の時間が増えると同時に、さまざまな本に親しむ機会が増えました。 今後は本事業を継続し、児童生徒が読書に親しむ機会を増やします。					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
1日30分以上読書をする	%	29	53 (R1)	50	全国学力・学習状況調査
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、全国学力・学習状況調査中止のため、R1年度の数値を記載。					

整理番号	1－4－3	学校図書館図書の学校間相互利用を推進します	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		A
「学校司書連絡会」における研修や情報交換により、各学校の読書環境の整備が進み、学校間の相互貸借による授業支援が進みました。			
第3次プランでは、本事業を「1-4-1学校図書の充実と利用の促進を図ります」に統合し、「学校司書連絡会」を基点とした図書の学校間相互貸借や、学校における読書環境の整備を推進します。			

整理番号	1-4-4	教育支援センターの機能の充実を図ります	事業区分（最終評価）			
担 当 課	学校教育課		B			
<p>学校との緊密な連携のもと一人ひとりの特性に応じた指導をし、通室生の社会的な自立を支援しました。また、教育相談員の配置により、学校内に多様な学びの場を作りだすことができました。</p>						
<p>第3次プランでは、本事業に「2-2-1不登校など、子どもたちが直面する課題の調査・研究や教育相談など、教育センター活動の充実に努めます」を統合し、教育センターの機能の一部として更なる充実を図ります。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
教育相談員の配置数		人	7	8 (R2)	10	学校教育課調べ

整理番号	1-4-5	デジタル教材を活用した授業を推進します	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		A
<p>市で策定した「未来の学習環境整備事業」により、学習用コンピュータ(端末)や大型ディスプレイ等の整備を段階的に進めることができました。</p> <p>今後は、デジタル教科書の利用や一人一台タブレット端末を利用した学力調査の実施など、「整備・導入」から「活用促進」の段階に移行させていく必要があります。</p>			

整理番号	1-4-6	教職員が子どもと向き合う時間の確保を図ります	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		A
<p>市の業務改善方針及び計画を改定し、取組を強化したことや、スクールサポートスタッフ・部活動指導員といった教職員の業務負担を軽減するための人材を配置し、教職員が子どもと向き合うための時間を増やすことができました。</p> <p>今後も継続して本事業を推進します。</p>			

整理番号	1-4-7	校務支援システムの構築を推進します	事業区分(最終評価)
担当課	教育総務課 学校教育課		B

教職員の業務の軽減と効率化、教育活動の質の改善を図るため、市立小中学校への統合型校務支援システムの導入を検討してきました。平成29年度に本市単独の導入を検討、平成30年度には、白山市との共同調達の検討をしてきましたが、調達、運用コストの抑制や市外へ教職員が異動した場合の負担が課題となっていました。

令和元年度からは、県内19市町の教育委員会で構成する石川県市町教育委員会連合会において、システムの共同調達について検討し、その結果、令和3年度には、システムの調達・構築をするまでに至りました。

今後は、本システムの効果的な運用を推進していく必要があります。

整理番号	1-4-8	学校教育施設(小学校・中学校、給食センター)の 計画的整備を推進します	事業区分(最終評価)
担当課	教育総務課		B

市立小中学校の大規模改造工事が完了し、校舎の耐震化、エレベーター設置等のバリアフリー化、トイレの洋式化、教室の空調設備の設置等により、快適な教育環境の整備に努めてきました。

また、小学校給食センターについては、PFI事業において整備し、安全・安心な給食提供の確保、児童生徒の心身の健全な発達及び食育を推進するという役割を担っていることから、計画的な修繕、改修、予防保全を行ってきました。

今後、よりよい教育環境の確保や時代の変化に対応するため、市立小中学校の長寿命化対策や中学校給食センター、教育センターの大規模改修を計画的に行っていく必要があります。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
小中学校の大規模改造実施率	%	85	100 (R2)	100	快適な環境の学校の増加



館野小学校(1)



館野小学校(2)



## ◆ 基本目標 1 学校での教育の推進 ◆

## 基本的施策 5 地域に根ざした学校づくり

## 施策の内容

郷土や地域を愛し、道德意識や社会性を身に付ける児童生徒を育てるために、地域の方々との交流や、歴史・文化施設を活用した体験学習を推進しました。また、開かれた学校づくりをめざし、地域や家庭と連携しながら、特色ある教育活動を推進しました。

## 主な成果と課題

整理番号	1-5-1	地域の歴史・文化・産業等をテーマにした学習を推進します	事業区分(最終評価)
担当課	学校教育課		A

小学校教員による社会科資料集作成委員会が、地域の歴史・文化・産業等の内容を充実させた社会科資料集「わたしたちの野々市」を作成しました。中学校の「わく・ワーク体験」においては、地域の協力を得て体験学習を進め、生徒が職業や自分の将来について考える機会となりました。

今後も、地域社会と連携しながら本事業を継続し、児童生徒が地域の歴史・文化・産業等をテーマにした学習を通して考えを深められるようにすることが大切です。

第3次プランでは、「1-5-2地域の方など外部講師を活用した地域教育を推進します」と統合し、それぞれの事業を通して、児童生徒の地域への愛着心を高めます。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
授業で市内施設を活用した数	箇所	58	77 (R1)	80	学校教育課調べ

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。

整理番号	1-5-2	地域の方など外部講師を活用した地域教育を推進します	事業区分(最終評価)
担当課	学校教育課		A

地域人材をゲストティーチャーや学習ボランティアとして招き、さまざまな授業を実施しました。児童生徒が地域の魅力を探究・発信し、地域と結びつきを深めたことにより、地域と共にある意識の向上につながりました。

今後も地域に誇りを持ち、地域に貢献する人材の育成をめざし、さらなる学習を推進します。

第3次プランでは、「1-5-1地域の歴史・文化・産業等をテーマにした学習を推進します」と統合し、それぞれの事業を通して、児童生徒の地域への愛着心を高めます。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
地域の方々と連携した授業回数	回 / 年	55	56 (R2)	56	学校教育課調べ



整理番号	1-5-3	学校から地域への情報発信を推進します	事業区分（最終評価）
担 当 課	学校教育課		B

学校ホームページの公開、学校広報の地域への配布、学校公開により、学校の教育方針や特色ある教育活動の取組、児童生徒の状況などを家庭や地域社会に向けて発信してきました。これにより、家庭や地域社会から学校の教育活動に対しての理解が深まり、「学校の応援団」や「見守り隊」などに対して協力的な人が増えてきました。

第3次プランでは、これまでの成果を土台とし、保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）事業に移行します。また、学校は引き続き情報発信を推進し、家庭や地域社会から学校の教育活動への理解がより深まるよう努めます。

整理番号	1-5-4	積極的な学校公開等による地域に開かれた 学校づくりを推進します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	学校教育課		A			
<p>学校評議員制度の活用により、授業の様子や地域での児童生徒の様子などについて客観的な意見をもらうことができ、学校運営の方針・学校の取組を検討するうえで参考とすることができました。また、学校公開により、保護者や地域住民に、気軽に学校を訪れ普段の様子を見学する機会を提供し、学校への理解を深めてもらうとともに、学校の教育活動に関する情報を提供しました。</p> <p>今後、令和3年度末で学校評議員制度は、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）事業に移行します。学校公開については、引き続き実施します。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
道徳授業の保護者への公開回数		回 / 年	7	7 (R2)	14	学校教育課調べ



学校公開の様子



学校のホームページ

## ◆ 基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 ◆

## 基本的施策 1 家庭教育、子育て支援の充実

## 施策の内容

家庭は教育の原点であり、子どもの豊かな情操や基本的生活習慣、他人を思いやる心、命を大切にする気持ち、善悪の判断など倫理観や自制心・自立心を養う重要な場所です。家庭教育の自主性を尊重しつつ、関係機関と地域が協力して子どもたちと家庭を支援する環境づくりを行ってきました。

## 主な成果と課題

整理番号	2-1-1	入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象とした家庭教育の大切さを学ぶ講座を実施するなど、家庭の教育力を高めるため、学習機会の充実に努めます	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		B
<p>入学説明会は多くの保護者が集まるため、効果的に学習の機会を提供することができました。</p> <p>家庭の教育力を高めるため、アンケートなどでニーズを把握し、講座の内容を充実させながら継続していく必要があります。</p>			
<p>第3次プランでは、家庭の教育力を高めるため、保護者に向けた啓発を行う事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>			

整理番号	2-1-2	効果的な家庭教育の事業を推進するため、各関係機関や地域が連携した「家庭教育推進協議会」を開催し、課題や施策について協議します	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課 健康推進課 子育て支援課		A
<p>家庭教育推進協議会では、家庭教育の問題点を共有し、各関係機関と連携を図り、課題に向けて取り組んできました。</p> <p>家庭での教育力を高めるため、課題解決に向けて関係機関や地域と連携し、家庭教育の重要性を広く市民に啓発していく必要があります。</p> <p>第3次プランでは、「2-1-6 家庭教育サポーターを養成し、保育園での保護者に対する相談業務など、子育て支援や子育て相談体制の充実に努めます」とともに、家庭教育事業の充実に向けた連携及び支援体制を整える事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>			

整理番号	2-1-3	<b>保健センターで行われる0歳児相談で、赤ちゃんと一緒に絵本を読む大切さを伝える「ブックスタート事業」を実施します</b>	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課 健康推進課		<b>A</b>

ブックスタートでは、読書に関心を持った親子がさらに読書を楽しめるよう、市立図書館や児童館など、地域の子どもが本を利用できる施設の活用を促しており、中でも市立図書館で開催される0～2歳児を対象としたおはなし会には、多くの親子が参加しました。

今後も事業を継続していくため、事業の目的や意義を各関係者(図書館、保健センター、ボランティア)が共有し、連携協力していくことが必要です。

本事業は、家庭教育や子育て支援にも関連しますが、読書推進を最大の目的としていることから、第3次プランでは、市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスの充実を図る事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

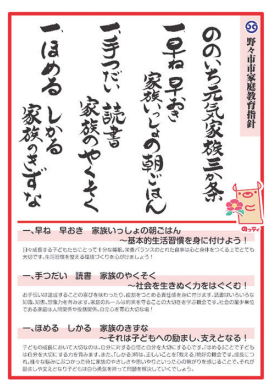
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
ブックスタート事業への参加人数	組/年	647	570 (R1)	800	家庭教育における読書の大切さを伝える(親子:組)

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、運用を変更したため、R1年度の数値を記載。

整理番号	2-1-4	<b>家庭教育指針「ののいち元気家族三か条」を活用しながら、基本的な生活習慣や家庭教育の大切さを啓発します</b>	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		<b>A</b>

家庭教育指針を取り入れた紙芝居やDVDは市内の保育園・認定こども園で活用し、効果的な啓発ができました。また、紙芝居は市立図書館でも貸し出しており、のっティを題材にしていることから手にとってもらえることも多く、「ののいち元気家族三か条」に書かれていることの大切さを家族で考えるきっかけとなっています。家庭の教育は、基本的な生活習慣の確立や、人格形成の基礎づくりのために大切であり、その重要性について継続して保護者に伝えていく必要があります。

第3次プランでは、家庭の教育力を高めるため、保護者に向けた啓発を行う事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。



ののいち元気家族三か条チラシ



ののいち元気家族三か条紙芝居



整理番号	2-1-5	市内一斉に親子のふれあいを強化する日として 「ノーテレビ・ノーゲームデー」を推進します	事業区分(最終評価)		
担 当 課	学校教育課 生涯学習課		A		

令和元年度に「ノーテレビ・ノーゲームデー」に「ノーネット」を新しく加えました。令和2年度のアンケートでは、本取組を知っていると回答した小中学生の保護者は76%で、PTAや“ののいちっ子を育てる”市民会議、その他関係機関が連携した啓発により、意識の高まりが見られました。子どものネットやゲーム、テレビに接する機会が増加する傾向にあることから、親子のふれあいを促し、基本的な生活習慣を身に付けるためにも継続した啓発活動が求められます。

第3次プランでは、家庭の教育力を高めるため、保護者に向けた啓発を行う事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
ネットを使用せず、ゲームもせず、テレビも見なかった(小学生)	%	56	56 (R2)	70	学校教育課調べ
ネットを使用せず、ゲームもせず、テレビも見なかった(中学生)	%	18	21 (R2)	30	学校教育課調べ

整理番号	2-1-6	家庭教育サポーターを養成し、保育園での保護者に対する相談業務など、子育て支援や子育て相談体制の充実に努めます	事業区分（最終評価）		
担 当 課	生涯学習課		A		
<p>家庭教育サポーターが園開放事業に出向き、ふれあいながら気軽な話し相手として参加親子の相談に乗ったことにより、参加した保護者からは、安心して子育てに向き合えたとの声が届きました。</p> <p>この活動は子育て中の母親にとって非常にニーズが高く、また安全・安心のまちづくりにかせない重要な事業であり、今後もこうしたニーズに適切に対応するため、継続的に養成講座を実施しつつ、サポーターの確保に努める必要があります。</p>					
<p>第3次プランでは、「2-1-2効果的な家庭教育の事業を推進するため、各関係機関や地域が連携した「家庭教育推進協議会」を開催し、課題や施策について協議します」とともに、家庭教育事業の充実に向けた連携及び支援体制を整える事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
家庭教育サポーターの会員数	人	27	21 (R2)	30	保護者に対して、保育園で子育て相談を実施

整理番号	2-1-7	子育て支援施設で実施される行事の情報を、「ののいちこどもカレンダー」として作成し、市内医療機関やスーパーなどに掲示し、情報の提供に努めます	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		A

家庭教育サポーターが相談活動を行う際のツールとして「ののいちこどもカレンダー」を使用し、なかよしの日に参加した親子に手渡しました。また、市内医療機関やスーパーなどに掲示したほか、ブックスタートの際にも手渡すなど、子育て情報の発信に努めてきました。

今後は、SNSなどを活用した子育て情報の発信に取り組む必要があります。

第3次プランでは、家庭の教育力を高めるため、保護者に向けた啓発を行う事業として統合し、インターネットで情報を得ることの多い現在の子育て世代に対応するため、子育てに役立つ情報を有する団体等に対し、よりニーズに合った情報発信の工夫を求めています。

整理番号	2-1-8	家庭教育力を高めるため、小・中学校生の保護者を対象に家庭教育の大切さを学ぶ(P T A家庭教育学級)講座を実施し、学習機会の充実に努めます	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		B

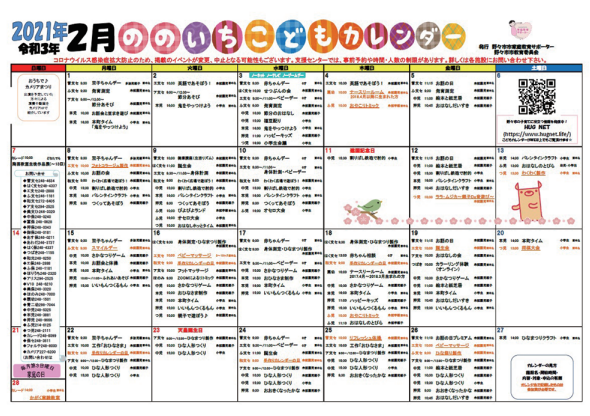
P T Aが主体となって事業を行うことから、本事業が家庭教育に対し自覚を持つ機会となっています。また、保護者のニーズが高い内容の講座を実施することができています。

核家族化や少子化、就業形態の変化などにより、家庭の教育力の低下が進むなか、家庭での教育力の向上につながる講座の実施など、学習機会を充実させる必要があります。

第3次プランでは、家庭の教育力を高めるため、保護者に向けた啓発を行う事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
家庭教育学級への参加人数	人 / 年	963	1,480 (R1)	900	P T A主催で家庭教育学級を実施

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。



ののいちこどもカレンダー



家庭教育学級



整理番号	2-1-9	幼児期における家庭の教育力を高めるため、保護者を対象に親子のふれあいの大切さや生活習慣の大切さを学ぶ「幼児家庭教育講座」を開催します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	生涯学習課		B			
<p>幼児家庭教育講座に、より多くの保護者に参加してもらうため、現状や保護者のニーズを把握したうえで講座を実施し、家庭教育の重要性を理解してもらうことで、家庭の教育力を高めることができました。</p> <p>引き続き、家庭の教育力を高めるため、保護者の子どもへの関わり方について啓発していく必要があります。</p>						
<p>第3次プランでは、家庭の教育力を高めるため、保護者に向けた啓発を行う事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
幼児家庭教育講座の開催回数 【開催園数】		回 / 年	各園 1 【12】	各園 1 (R1) 【10】	各園 2 【34】	各保育園が主催する家庭教育講座を実施
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。						

整理番号	2-1-10	情報技術を活用した今後の家庭教育支援として、携帯電話などモバイルツールを活用した子育て情報配信サービスを充実します	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A
<p>イベント情報や休日当番医のお知らせなど、子育てにおいて必要となるさまざまな情報をモバイルツールを活用して発信することができました。また、市広報やチラシなどに子育て情報サイトの案内を掲載することで、サイトの利用者が増加しており、子育て世代に浸透してきたものと考えています。</p> <p>インターネットで情報を得ることの多い子育て世代に対応するため、モバイルツールを活用した情報発信が求められています。</p>			
<p>第3次プランでは、家庭の教育力を高めるため、保護者に向けた啓発を行う事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>			



幼児家庭教育講座(1)



幼児家庭教育講座(2)

## ◆ 基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 ◆

## 基本的施策 2 青少年の健全育成

## 施策の内容

すべての子どもが自立し、個人として豊かな生涯を送ることができるよう、基礎となる力をはぐくむとともに社会の一員として必要な基本的資質をはぐくむ取組を行いました。また、青少年を取り巻く社会環境の変化に対応するため、家庭や学校、地域社会や関係機関・団体が協力し、健全育成の活動を推進してきました。

## 主な成果と課題

整理番号	2-2-1	不登校など、子どもたちが直面する課題の調査・研究や 教育相談など、教育センター活動の充実に努めます	事業区分（最終評価）		
担 当 課	学校教育課		B		

市立小中学校における不登校の状況把握が進み、改善に資する取組の共有につながりました。教育相談員の増員により支援の充実が図られています。

第3次プランでは、本事業を「1-4-4教育支援センター機能の充実に図ります」に統合し、急激に変化する社会背景に対応するために、教育センターの機能4領域①教職員研修②教育支援センターの運営③教育相談④課題に対する調査研究を総合的に推進します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
年度末不登校・ 不登校傾向児童生徒の出現数	人	80	159 (R2)	65	教育センター調べ

整理番号	2-2-2	青少年問題協議会の開催など、関係機関相互の調整と意見交換をしながら青少年健全育成の課題について調査・研究に努めます	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A
<p>青少年問題協議会を開催することで、関係機関相互が課題と情報の共有及び意見交換を行い、連携して青少年の健全育成に向けた活動に取り組んでいくことを確認し、市内における青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施につながりました。</p> <p>青少年を取巻く環境は日々変化していくため、関係機関と情報を共有することで、青少年の健全育成に向けた課題解決につなげていく必要があります。</p>			

整理番号	2-2-3	県事業の「石川少年の翼」の参加者への助成など 国際交流の推進に努めます	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A

第2次プラン期間で派遣された人数は2名、応募は4名となっています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、主催の石川県が事業の内容を見直し、オンラインでの開催となりました。

今後も県の事業を活用することで、本市の青少年の国際交流を推進してきます。

第3次プランでは、「2-2-7自然と触れ合う「自然教室」を実施し、子どもたちがたくましく生きる力や豊かな人間性を育むように努めます」、「2-2-10青少年ボランティア団体の活動を支援します」とともに、さまざまな体験活動を通し、青少年の豊かな心を育成する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

整理番号	2-2-4	成人式の開催を通して、自立し大人社会への仲間入りすることの自覚など青少年の社会参加活動を推進します	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A

成人式実行委員会は新成人の有志で組織し、事前の準備から式を作り上げることで、新成人の社会参加を推進しました。平成28年度には、青少年ボランティア団体（glory）を成人式実行委員会のメンバーを中心に結成し、市主催の事業や公共施設で実施するイベントの手伝い、成人式の受付など社会参加活動を行ってきました。

今後は成人としての自覚・自立を促すための啓発方法について検討が必要となります。

第3次プランでは、「2-2-8立志式の開催を通して、人生の分岐点に立つ14歳の青少年に、次代を担う者としての自覚・自立を促します」とともに、次代を担う者としての自覚・自立を促す事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

整理番号	2-2-5	少年育成センターの活動として、Webサイトの巡視など有害情報から子どもを守る取り組みを推進します	事業区分（最終評価）	
担 当 課	生涯学習課		A	
<p>平成28年度から、子どもたちが日常的に使用しているWebサイトを専任育成指導員が巡視するとともに、関係機関と情報共有を行う体制を構築することで、効果的な取組を行うことができました。</p> <p>今後は、SNSなど新しいサービスに対応するため、巡視方法について検討していく必要があります。</p>				
<p>第3次プランでは、「2-2-6少年育成センターの活動として、街頭巡視活動など子どもの問題行動の抑止と有害環境から子どもを守る取り組みを推進します」とともに、子どもの問題行動の抑止と子どもを有害環境から守る事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>				



整理番号	2-2-6	少年育成センターの活動として、街頭巡視活動など子どもの問題行動の抑止と有害環境から子どもを守る取り組みを推進します	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		A

少年育成指導員の街頭巡視活動内容等を記載したハンドブックを作成、配布し、街頭巡視が円滑に進むように努めてきました。令和2年度はコロナ禍においても街頭巡視の参加率が88%と高く、街頭巡視の重要性が浸透してきたものと考えています。

大型店舗の移転や新規店舗の出店など、市内の環境は常に変化しており、新規店舗との協力体制の構築や、新たな危険箇所の把握が必要となります。

第3次プランでは、「2-2-5少年育成センターの活動として、Webサイトの巡視など有害情報から子どもを守る取り組みを推進します」とともに、子どもの問題行動の抑止と子どもを有害環境から守る事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
街頭巡視活動の回数	回/年	345	363 (R1)	150	各巡視員による街頭巡視

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。

整理番号	2-2-7	自然と触れ合う「自然教室」を実施し、子どもたちがたくましく生きる力や豊かな人間性を育むように努めます	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		A

これまで延べ309名の児童が参加し、虚空蔵山散策やいしかわ動物園・昆虫館の裏側探検、三方岩岳・遣水観音山登山や鳥越城山トレッキング、かんじき体験等さまざまな自然教室を実施しました。

今後、さらに内容を充実していくために、児童が安全に自然と触れ合える場所や方法を検討していく必要があります。

第3次プランでは、「2-2-3県事業の「石川少年の翼」の参加者への助成など国際交流の推進に努めます」、「2-2-10青少年ボランティア団体の活動を支援します」とともに、さまざまな体験活動を通し、青少年の豊かな心を育成する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。



自然教室



少年育成センター  
(巡視活動のハンドブック)



整理番号	2-2-8	立志式の開催を通して、人生の分岐点に立つ14歳の 青少年に、次代を担う者としての自覚・自立を促します	事業区分(最終評価)
担 当 課	生涯学習課		A

年に一度開催し、式典と共に情報社会や人生についての講演など、子どもたちの発達期に適した内容の講演会を行い、次代を担う者としての自覚や自立を促すことができました。

自覚や自立を促す講演会の開催にあたっては、生徒自らが、将来の生き方を考え、新たな学習の意欲につながる内容を検討していく必要があります。

第3次プランでは、「2-2-4成人式の開催を通して、自立し大人社会への仲間入りすることの自覚など青少年の社会参加活動を推進します」とともに、次代を担う者としての自覚・自立を促す事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

整理番号	2-2-9	子ども会やPTAなど、社会教育団体の 活動を支援します	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A
<p>じょんからまつりへの参加、壁新聞コンクール等の活動を通して、子どもたちが地域の大人とのつながりや地域へ愛着を持ち、地域で子どもたちを育てるという気運を高めることができました。</p> <p>その一方で、都市化や核家族化により、地域のつながりの希薄化は今後ますます懸念されます。</p> <p>第3次プランでは、「2-3-7地域の伝統行事や子ども会活動の活性化を支援します」とともに、子どもの健全育成に取り組む地域活動を支援する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>			

整理番号	2-2-10	事業区分（最終評価）			
担 当 課	生涯学習課				
青少年ボランティア団体の活動を支援します		A			
<p>市や公民館等が活動場所を提供することで、青少年ボランティアへの参加を通じて、青少年の社会参加活動を推進することができました。</p> <p>今後は、社会参加の場を提供するとともに、活動の知名度を高め、魅力ある活動となるよう適切な支援を行います。</p>					
<p>第3次プランでは、「2-2-3県事業の「石川少年の翼」の参加者への助成など国際交流の推進に努めます」、「2-2-7自然と触れ合う「自然教室」を実施し、子どもたちがたくましく生きる力や豊かな人間性を育むように努めます」とともに、さまざまな体験活動を通し、青少年の豊かな心を育成する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
青少年ボランティア団体の加入者数	人	17	25 (R2)	40	ボランティア探検隊飛鳥 ボランティア団体 glory

## ◆ 基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 ◆

## 基本的施策 3 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

## 施策の内容

子どもがたくましく健やかに成長するには、保護者の愛情、適切な家庭教育、地域における人と人とのつながりが重要です。子どもたちを健やかにはぐくむため、家庭・地域・学校が連携協力し、社会全体での教育力の向上に取り組みました。

## 主な成果と課題

整理番号	2-3-1	見守り隊など、地域での子どもの安全を守る取組を 推進します	事業区分(最終評価)
担 当 課	学校教育課		A
<p>保護者や地域住民の協力のもと、関係機関との連携・協働により、通学中の交通事故や犯罪防止のための安全点検や見守り活動などが推進されてきました。それにより市内の4団体が、「石川県学校安全ボランティア表彰」を受賞しました。</p> <p>今後は、防犯ボランティアの高齢化・担い手不足という課題を解消しながら、より保護者・地域・学校が一丸となって登下校時における日常的な安全確保を強化します。</p>			

整理番号	2-3-2	「“ののいちっ子を育てる” 市民会議」の活動を支援 して、「愛と和のひと声運動」など、市民相互の健全 育成の気運を高めます	事業区分(最終評価)
担 当 課	生涯学習課		A
<p>各種機関、団体の連携と協力のもと、市民一人ひとりが主体となって「愛と和のひと声運動」に参加し、青少年の健全育成と生活の安全を図る運動を展開できました。</p> <p>今後はこの運動がまち全体で盛り上がるように、お店や民間企業に、のぼり旗や缶バッジを活用してもらい、運動の気運を高める体制づくりに努める必要があります。</p>			
<p>第3次プランでは、“ののいちっ子を育てる” 市民会議と共に健全な青少年の育成に取り組む事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>			



「愛と和のひと声運動」(1)



「愛と和のひと声運動」(2)

整理番号	2-3-3	「“ののいちっ子を育てる” 市民会議」の活動を支援して、「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」など、市民相互の健全育成の気運を高めます	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		A

参加者数は天候に左右されやすい面もありますが、例年多くの市民が参加しており、市内の公共施設や公園、道路等の清掃活動を通して子どもと大人のふれあいを図ることができました。

今後は、「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」について、本来の趣旨である子どもの社会参加活動を促すことや大人の子どもに対する健全育成の力を養うことについて、市民に改めて理解してもらうとともに、多くの市民に参加してもらえるように活動を周知していく必要があります。

第3次プランでは、“ののいちっ子を育てる” 市民会議と共に健全な青少年の育成に取り組む事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
美化清掃の参加者数	人/年	5,736	9,533 (R1)	11,000	子どもと大人のまちぐるみ美化清掃

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。

整理番号	2-3-4	放課後子ども教室など、地域での安全で安心な 子どもの居場所づくりの取り組みを推進します	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		B

例年、放課後子ども教室には多くの申込があり、地域に根付いた事業となっています。子どもたちは市内の施設見学や地域の方を講師として招いた体験活動を通じて、多くの地域の方とも交流を持つことができました。昨今は、家庭・地域・学校が協力し地域全体で子どもを育てていくことが求められ本事業の実施についても、家庭や学校との連携が期待されています。

今後は、子どもや子育て家庭を取り巻く環境の変化に順応した安全・安心な子どもたちの居場所の確保が求められています。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
放課後子ども教室への受け入れ人数	人/年	148	139 (R1)	210	放課後子ども教室

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。



子どもと大人のまちぐるみ美化清掃



放課後子ども教室



整理番号	2-3-6	「“ののいちっ子を育てる” 市民会議」を中心とした 学校・家庭・育成団体・地域・行政の連携による 育成活動を促進します	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A
<p>スマートフォンに代表されるＩＣＴ機器やゲーム機の多様化・多機能化が進行し、さまざまなコミュニケーション手段が生活に浸透してきたことを受け、“ののいちっ子を育てる” 市民会議は各団体と協力して、ＩＣＴ機器における危険性の啓発などについてメディア対策事業を行い、児童生徒や保護者らのＩＣＴ機器の管理意識の向上につなげてきました。また、市では各団体と連絡調整を図る青少年メディア対策連絡協議会を開催し、効果的な施策の推進に努めました。今後も青少年を取り巻く環境の変化に対して、速やかな対応が求められています。</p>			
<p>第3次プランでは、“ののいちっ子を育てる” 市民会議と共に健全な青少年の育成に取り組む事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>			

整理番号	2-3-7	地域の伝統行事や子ども会活動の活性化を支援します	事業区分(方向性)
担 当 課	生涯学習課 文 化 課		A
<p>輪投げグラウンドチャンピオン大会や壁新聞コンクール展など、長期にわたり継続している事業では、児童が卒業した子どもたちと共有できる話題でもあり、子ども会活動の活性化につながっています。一方で、都市化や核家族化により地域のつながりの希薄化が問題視されており、市の情報発信ツールなどを利用し、子ども会活動を支援していく必要があります。</p> <p>第3次プランでは、「2-2-9 子ども会やPTAなど、社会教育団体の活動を支援します」とともに、子どもの健全育成に取り組む地域活動を支援する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>			



青少年育成研修会



壁新聞コンクール展



## ◆ 基本目標3 生涯学習の推進 ◆

## 基本的施策 1 生涯教育と社会参画の推進

## 施策の内容

誰もが身近な場所で生涯にわたって学び、健康で充実した人生を実現できるよう事業を行いました。また、その成果を生かした社会貢献やコミュニティづくりへの気運を高めるための取組を行いました。

## 主な成果と課題

整理番号	3-1-1	公民館が地域の学習拠点として、市民の学習ニーズや社会の要請に応えるなど地域コミュニティの場となるよう、特色ある事業を推進します	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		A

市民の学習ニーズに沿った特色ある事業を推進することができました。

今後は、市民が学んだ成果が地域社会に還元されるような仕組みを構築していく必要があります。また、コロナ禍を通して、「いつでも」「どこでも」「誰でも」自由に学べる環境の大切さが再認識されたことから、身体の不自由な方など、さまざまな事情により外出が困難な方も参加できるICT機器を活用した学習機会の提供が求められます。

第3次プランでは、公民館に関する事業を集約し、社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進する取組として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
地区公民館の自主事業への参加者数	人/年	2,416	3,371 (R1)	3,160	地区公民館、女性センター (運動会・虫送り以外)

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。

整理番号	3-1-2	公民館事業として、地域のコミュニティが充実するよう地区運動会など、子どもから高齢者まで世代を越え地域全体を巻き込んだ事業を推進します	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課		A

子どもから高齢者まで、多くの地域住民が集まって地区運動会に参加することで地域コミュニティの充実へとつながりました。

今後も公平で幅広い年齢層の方々が楽しめる競技を実施する必要があります。

第3次プランでは、公民館に関する事業を集約し、社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進する取組として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

整理番号	3-1-3	地区公民館事業として、市民が生涯にわたって、自主的な学習活動が続けることができるよう活動を支援します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	生涯学習課		A			
<p>サークル活動は、平成26年に富奥公民館（富奥防災コミュニティセンター）、令和元年度には「にぎわいの里のいちカミーノ」がオープンし、より充実した施設で活動できるようになりました。また、「ののいちマナビィフェスタ」には、日頃の成果発表の場として、多くのサークルが参加しました。</p> <p>高齢化に伴い、市民が生涯に渡って活動する場の必要性が高まっており、意欲のある方々に活躍の場を提供できるよう、新たなサークルづくりを支援していく必要があります。</p>						
第3次プランでは、公民館に関する事業を集約し、社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進する取組として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
各施設で活動するサークル数		団体	97	93 (R2)	108	地区公民館、女性センター等

整理番号	3-1-4	中央公民館事業として、ののいちマナビィフェスタの開催など、市民自らが主体となった学習成果を発表する機会の充実を促進します	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A
<p>令和元年度より新たに開館した「にぎわいの里ののいちカミーノ」を会場とすることで、市民の学習成果をより充実した環境で発表することができました。また、令和2年度は「ののいちマナビィフェスタ」を椿まつりと同日開催とすることでにぎわいの創出につなげることができました。</p> <p>今後も「にぎわいの里ののいちカミーノ」を有効活用し、充実した環境で学習成果を発表する機会を提供する必要があります。</p>			
<div>第3次プランでは、公民館に関する事業を集約し、社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進する取組として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</div>			



地区公民館合同トリプルソフトバレー



ののいちマナビィフェスタ

整理番号	3-1-5	中央公民館事業として、寿大学校など生涯にわたって 学ぶ機会の提供に努めます	事業区分（最終評価）		
担 当 課	生涯学習課		A		
<p>寿大学校については、市民のニーズにあった講座を実施することで毎年定員以上の申込みがありました。寿大学院については、令和元年度より新しく「歴史」コースや「加賀の国と日本文学」のコースを開設するなど、講座内容をより充実させることができました。</p> <p>寿大学校や寿大学院の一部のコースにおいて、毎年定員以上の申込みがあり、多くの人が受講できるような取組が必要です。</p>					
第3次プランでは、公民館に関する事業を集約し、社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進する取組として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
寿大学校修了者数（累計）	人	1,603	1,774 (R2)	1,670	昭和62年以降の修了者の累計

整理番号	3-1-6	市民の自主的運営による市民大学校事業など、 市民による市民のための学習体制の推進に努めます	事業区分(最終評価)														
担 当 課	生涯学習課		A														
<p>「ののいちコミュニティカレッジ」企画委員会は、市内及び近郊の大学と連携し、年間15回程度の講座を実施してきました。内容についても市民自らが企画することにより、市民のニーズに沿った多様な学習を提供することができました。</p> <p>今後は世代ごとの企画委員会を立ち上げるなど、より幅広い世代に多様な学びを提供する必要があります。</p>																	
第3次プランでは、「3-1-10学びのサポーター登録など、地域の人材を発掘し、地域社会の活性化を推進します」とともに、市民が共に学び合う場を創出する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。																	
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>市民大学校事業の参加者数</td><td>人 / 年</td><td>779</td><td>624 (R1)</td><td>800</td><td>コミュニティカレッジ、 公開講演会等</td></tr></table>						成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	市民大学校事業の参加者数	人 / 年	779	624 (R1)	800	コミュニティカレッジ、 公開講演会等
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明												
市民大学校事業の参加者数	人 / 年	779	624 (R1)	800	コミュニティカレッジ、 公開講演会等												
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。																	

整理番号	3-1-9	図書館が市民の学習活動を通じた知の拠点として、誰もが利用しやすい施設として機能を果たすよう努めます	事業区分（最終評価）		
担 当 課	生涯学習課		A		
<p>新図書館のカレードでは、指定管理者制度を取り入れたことにより、夜間の開館やＩＣＴ技術を生かした電子図書館等、これまでにない図書館サービスが提供できるようになりました。さらに、市民学習センター機能が複合され、多方面にわたる図書館サービスが展開されるようになりました。</p> <p>図書館を活用した学びが活発に行われるように、蔵書などの充実や職員の資質の向上を図る必要があります。</p>					
第3次プランでは、図書館に関する事業を集約し、市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスを充実する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
図書の貸出冊数	冊 / 年	93,844	530,759 (R2)	500,000	中間評価は旧図書館の貸出冊数現状値及び目標値は新図書館の貸出冊数

整理番号	3-1-10	学びのサポーター登録など、地域の人材を発掘し、 地域社会の活性化を推進します	事業区分(最終評価)			
担 当 課	生涯学習課		B			
<p>野々市中央地区整備事業に伴い、北国街道にぎわい創出プロジェクトが始動し、事業企画推進協議会が発足しました。委員となった市民は、にぎわいの里ののいちカミーノを拠点に、学びを通して野々市中央地区のにぎわい創出に資する催しを企画運営し、訪れた施設利用者からも好評を得ました。</p> <p>高齢化が進む社会において、市民が主体的に学ぶ機会や社会での活躍の機会を求める声が高まるとともに、市民の活躍が期待される場が広がると考えられるため、新たな人材の発掘及び育成も重要となります。</p>						
<p>第3次プランでは、「3-1-6 市民の自主的運営による市民大学校事業など、市民による市民のための学習体制の推進に努めます」とともに、市民が共に学び合う場を創出する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
学びのサポーター登録者数		人 / 年	23	25 (R2)	55	学びのサポーター登録・活用事業



整理番号	3-1-11	子ども会やスカウト育成会、PTA連合会、女性団体など、 社会教育関係団体の自立と活動を支援します	事業区分（最終評価）
担 当 課	生涯学習課		A
各団体の「ののいちマナビフェスタ」や地域行事などへの参加を支援してきました。 行政の支援が団体の活動の充実につながるよう、引き続き支援していく必要があります。			

整理番号	3-1-13	新図書館の事業として、市民が学習の成果を活用して行う活動の機会を提供し、その活動を支援します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	生涯学習課		A			
<p>新図書館では、ボランティア専用スペースが整備され、より充実した活動ができるようになりました。</p> <p>今後は、新たなボランティアの開拓や既存ボランティアのスキルアップを図り、個々のボランティアのスキルに合った活躍の機会を提供していくことが大切です。</p>						
<p>第3次プランでは、図書館に関する事業を集約し、市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスを充実する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
図書館で活動するボランティアの人数		人	49	64 (R2)	100	ブックスタート、公民館図書室、おはなし会等での活動

整理番号	3-1-14	複合施設である「学びの杜ののいちカレード」の 機能を生かした事業を展開します	事業区分（最終評価）	
担 当 課	生涯学習課 市民協働課		A	

図書館と市民学習センターとの複合化により、特色ある図書館事業が実施しやすくなりました。また、展示会等の催しの来場者が図書に触れる機会が自然に生まれるようになりました。

今後は、多くの人々が集える大規模施設の特長を生かした取組を行っていくとともに、災害時や、利用者の視覚等の障害、その他の事情により、直接来館できない状況であっても、すべての人が図書館サービスを受けられるよう工夫する必要があります。

第3次プランでは、図書館に関する事業を集約し、市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスを充実する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
学びの杜ののいち利用者数	人 / 年	—	468,474 (R1)	300,000	新たな利用者の呼び込み

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。

整理番号	3-1-15	市民協働の拠点づくりに地域中心交流拠点施設を積極的に活用します	事業区分(最終評価)
担当課	生涯学習課 企画課 地域振興課 市民協働課		B

令和元年度に地域中心交流拠点施設として「にぎわいの里のいちカミーノ」がオープンしました。公共棟には、市民、企業、団体の活動及び連携の拠点を、民間棟には、本市の魅力を市内外にPRしていく拠点を設け、生涯学習のみならず、市民協働や地域の活性化にも本施設が活用されました。

今後も、市民協働のまちづくりやにぎわい創出のため、公民館・市民活動センター・観光物産協会が連携し、それぞれの事業内容、運営上の問題、施設相互利用について協議し、有効活用していくことが重要です。

成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
新中央公民館利用者数	人/年	—	156,260 (R1)	55,000	利用者の交流の促進

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。



野々市寿大学校



学びのサポーターとつくる夏休み体験



のいちコミュニティカレッジ



1の1NONOICHI マルシェ

## ◆ 基本目標3 生涯学習の推進 ◆

## 基本的施策 2 文化・芸術活動の推進

## 施策の内容

野々市らしさの再発見と文化・芸術活動を市民と共に検討し、地域への愛着心の向上をめざしてきました。

## 主な成果と課題

整理番号	3-2-1	優れた芸術・音楽鑑賞などの機会を充実します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	文 化 課		A			
<p>一部では県の事業を活用していますが、さまざまなジャンルの芸術鑑賞の機会を児童生徒に均等に提供しました。</p> <p>今後は、市文化協会との提携を充実させることも視野に、市立小中学校と協議しながら、子どもたちに継続的な鑑賞機会を提供する必要があります。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
芸術鑑賞教室の回数		回 / 年	3	3 (R1)	3	児童生徒が芸術を鑑賞する機会
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。						

整理番号	3-2-2	利用しやすい文化施設の環境を充実させ、 市民参加型の文化芸術の活性化を促進します	事業区分（最終評価）	
担 当 課	文 化 課		A	
<p>市美術展は、会場をカレードにしたことで、入場者、出品者ともに増加し、展示スペースとしてのカレードの活用が進み、市民にとって文化芸術がより身近に感じられるようになりました。</p> <p>椿まつりの催事内容を再検討し、来場者を飽きさせない工夫をしています。</p>				



整理番号	3-2-3	市民芸術家との協働により 芸術文化に親しむ機会を充実します	事業区分(最終評価)														
担 当 課	文 化 課		A														
BIGAPPLE in NONOICHI 等、質の高い文化事業を実施できました。																	
今後も市民のニーズを汲み取り、野々市市らしい文化活動について引き続き調査・検討を行い、既存事業よりもより良いものをめざします。特に、次の世代を担う子どもたちを対象とした文化芸術体験を充実させることで、豊かな感性を養い、教養向上を図ります。																	
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>芸術文化事業数</td><td>回 / 年</td><td>37</td><td>37 (R1)</td><td>40</td><td>情報文化振興財団の自主事業や育成団体の活動を支援する</td></tr></table>						成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	芸術文化事業数	回 / 年	37	37 (R1)	40	情報文化振興財団の自主事業や育成団体の活動を支援する
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明												
芸術文化事業数	回 / 年	37	37 (R1)	40	情報文化振興財団の自主事業や育成団体の活動を支援する												
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。																	



BIG APPLE in NONOICHI  
出演アーティストによる学校訪問



BIG APPLE in NONOICHI ワークショップ



劇団 nono 定期公演「全力のネコ」



◆ 基本目標3 生涯学習の推進 ◆

基本的施策 3 伝統行事・文化財の保護と活用

施策の内容

伝統行事の継承をはじめ、各種文化財の保存・発掘とその活用を進めて地域の文化に対する理解が深まることをめざし、普及啓発活動や無形文化財の調査を行いました。

主な成果と課題

整理番号	3-3-1	郷土芸能伝承団体活動や後継者の育成を支援します	事業区分(最終評価)			
担 当 課	文 化 課		B			
市指定無形民俗文化財の指定に向けた調査を実施しました。 今後は調査の内容をもとに、報告書をまとめ指定に向けて取り組んでいきます。						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
郷土芸能伝承団体の数		団体	24	24 (R2)	25	休止中の伝承団体活動の復活 (伝承すべき芸能数は25)
市指定無形民俗文化財の件数		件	1	1 (R2)	4	重要な伝承芸能を指定し 保存意識を高める

整理番号	3-3-2	市内の文化遺産を活用した企画展や イベントなどを充実します	事業区分(最終評価)																			
担 当 課	文 化 課		A																			
新型コロナウイルスの影響により令和2年度は目標値を大幅に下回りましたが、令和元年度は目標値を達成するなど、一定の成果が見られました。																						
これからも地域の歴史を身近に感じてもらうための企画を考えていきます。																						
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>企画展等への参加者</td><td>人 / 年</td><td>2,382</td><td>1,694 (R2)</td><td>3,000</td><td>文化遺産理解の推進と学習</td></tr><tr><td>文化財施設の利用者数</td><td>人 / 年</td><td>7,894</td><td>4,309 (R2)</td><td>10,000</td><td></td></tr></table>					成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	企画展等への参加者	人 / 年	2,382	1,694 (R2)	3,000	文化遺産理解の推進と学習	文化財施設の利用者数	人 / 年	7,894	4,309 (R2)	10,000	
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明																	
企画展等への参加者	人 / 年	2,382	1,694 (R2)	3,000	文化遺産理解の推進と学習																	
文化財施設の利用者数	人 / 年	7,894	4,309 (R2)	10,000																		

整理番号	3-3-3	埋蔵文化財発掘調査の最新情報の発信を充実します	事業区分(最終評価)
担 当 課	文 化 課		B
発掘調査などによって明らかになった成果を、現地説明会の実施や埋蔵文化財企画展等で市民に向けて発信しました。			
これからも市民に対し、埋蔵文化財の魅力を市ホームページや企画展等で分かりやすく伝えていきます。			

整理番号	3-3-4	市内の文化遺産の情報を発信するデジタル資料館を 充実します	事業区分（最終評価）		
担 当 課	文 化 課		B		
デジタル資料館公開後、多言語化や新規コンテンツの追加などを行いました。 今後も新たなコンテンツ資料を計画的に追加していくとともに、デジタル資料館の利用促進をめざします。					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
デジタル資料館へのアクセス数	人 / 年	3,409	4,417 (R2)	5,000	文化遺産について理解の 推進と学習

整理番号	3-3-5	市内の文化遺産のガイダンス設備を充実します	事業区分(最終評価)			
担 当 課	文 化 課		B			
<p>市内に残る歴史遺産を市民に周知するための説明看板については、計画通りに設置を進め目標値に達することができました。</p> <p>今後は、発掘調査等で新たに発見した遺跡などの説明看板の新規設置や、既存看板に最新情報を反映できるような計画を立てていきます。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
文化財説明看板の整備数		基	39	58 (R2)	56	文化遺産ガイダンスの充実 によるまちの魅力向上

整理番号	3－3－6	史跡末松廃寺跡の解明を進め 魅力ある再整備を実施します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	文 化 課		A			
<p>再整備に向けた発掘調査を実施してきたことで、これまで不明であった末松廃寺跡の姿が明らかになってきています。</p> <p>今後も再整備に向けた発掘調査を計画的に進めていきます。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
末松廃寺跡発掘調査の進捗率		%	75	80 (R2)	100	発掘調査を実施
末松廃寺跡の再整備率		%	32	45 (R2)	100	再整備によるまちの魅力向上

整理番号	3-3-7	史跡御経塚遺跡の発掘調査を行い、 再整備を実施します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	文 化 課		B			
<p>平成30年度には江戸東京博物館で、御経塚遺跡出土品修理後の土器や玉製品を貸し出して展示し、多くの人々に御経塚遺跡出土品を周知することができました。</p> <p>今後も継続的な出土品の保存修理事業を実施していきます。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
重文御経塚遺跡出土品修理の進捗率		%	50	65 (R2)	100	文化遺産理解の推進と再整備によるまちの魅力向上

整理番号	3-3-8	喜多家住宅の重要文化財追加指定を実施します	事業区分（最終評価）													
担 当 課	文 化 課		完了													
<p>令和元年12月に喜多家住宅の酒造場部分が重要文化財に追加指定され、令和2年度には所有者より建造物の寄附を受け10月1日より公有化したのち、敷地の買い上げを実施しました。</p> <p>喜多家住宅の重要文化財指定と公有化によって、貴重な文化財を保存していくための第一歩につながりました。</p> <p>今後は、文化財としての価値や歴史を普及・啓発していくとともに、旧北国街道の街並みを代表する建物として、保存・活用を行っていきます。</p>																
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>喜多家住宅追加指定の進捗率</td><td>%</td><td>40</td><td>100 (R2)</td><td>100</td><td>文化遺産の保存意識を高める。</td></tr></table>					成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	喜多家住宅追加指定の進捗率	%	40	100 (R2)	100	文化遺産の保存意識を高める。
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明											
喜多家住宅追加指定の進捗率	%	40	100 (R2)	100	文化遺産の保存意識を高める。											



喜多家住宅



喜多家住宅の活用 (IKERU NONOICHI 2021)

## ◆ 基本目標3 生涯学習の推進 ◆

### 基本的施策 4 // スポーツ活動の推進

#### 施策の内容

生涯にわたり健康で生き生きと生活するためには、適度な運動を続けることが効果的です。そのためには、生涯スポーツの普及・促進、競技スポーツの充実・強化とスポーツ施設の活用を図ることにより、誰もが行えるスポーツ活動を推進し、一人ひとりが健康で豊かな生活を営む活力あふれる地域社会をめざしてきました。

#### 主な成果と課題

整理番号	3-4-1	研修会や講習会を開催するなど、 指導者の育成と指導力の向上を図ります	事業区分（最終評価）			
担 当 課	スポーツ振興課		A			
<p>市内におけるスポーツの活性化、競技力の向上には指導者の充実が不可欠であるため、継続的に指導者の育成につながる研修事業を実施してきました。</p> <p>今後もこの事業を時代に沿った内容で継続することにより、更なる指導力の向上と指導者の拡大を図る必要があります。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
指導者・保護者研修会参加数		人 / 年	48	65 (R1)	50	
スポーツ傷病の予防と応急手当講習会・テーピング実技人数		人 / 年	45	15 (R2)	50	
※【指導者・保護者研修会参加数】R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。						
※【スポーツ傷病の予防と応急手当講習会・テーピング実技人数】						
R1年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、一部事業中止。R2年度は事業内容を制限。						



指導者・保護者研修会



スポーツ傷病の予防と  
応急手当て講習会



整理番号	3-4-2	地域や年齢層に合ったスポーツの普及など、 生涯スポーツを推進します	事業区分（最終評価）		
担 当 課	スポーツ振興課		B		
<p>生涯スポーツの推進の一環として、市と市スポーツ推進委員が協働し、ニュースポーツについて研究を行い、市民に対し多種にわたるニュースポーツの体験会を継続的に開催する事ができました。</p> <p>ニュースポーツは年齢や性別に関係なく楽しめる競技が多く、地域やグループの行事でも取り組めることから、さらにニュースポーツの研究を進め、今後は、市民への情報発信に加え、地区公民館や町内会等にも声掛けし、ニュースポーツの更なる普及振興と参加者の拡大を行うことにより、生涯スポーツを推進する必要があります。</p>					
<p>第3次プランでは、本事業に「3-4-3生涯スポーツを推進するためにも、誰でも参加できるニュースポーツなどの普及を推進します」を統合し、ニュースポーツを活用した生涯スポーツの推進を図ります。</p>					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
ニュースポーツ体験会の開催数	回 / 年	12	9 (R1)	12	
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。					

整理番号	3-4-3	生涯スポーツを推進するためにも、誰でも参加できる ニュースポーツなどの普及を推進します	事業区分（最終評価）		
担 当 課	スポーツ振興課		B		
<p>市内では地区公民館事業で定着感があるニュースポーツ「トリプルソフトバレー」の事業を、市でも継続的に行うことで、誰でも参加できるニュースポーツを普及・推進してきました。成果指標のトリプルソフトバレー大会の参加チーム数は目標数の30チームには届きませんでした。毎年、一定数のチームの参加があり、ニュースポーツを通してスポーツの楽しさに触れる機会を提供することができました。</p> <p>ニュースポーツは生涯スポーツを推進するために有効なツールなので、どのようにしたらニュースポーツ事業の気軽さ、楽しさを伝える事ができるのかを改めて研究し、実行していく必要があります。</p>					
第3次プランでは、本事業を「3-4-2地域や年齢層に合ったスポーツの普及など、生涯スポーツを推進します」に統合し、幅広くニュースポーツを活用した生涯スポーツの推進を図ります。					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
トリプルソフトバレー大会 参加チーム数	個 / 年	24	13 (R2)	30	幅広い年齢層の参加を めざしたチーム数
※ R1年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、実績なし。R2年度は事業内容を制限。					

整理番号	3-4-4	高齢者等へのスポーツ活動を促進します	事業区分(最終評価)			
担 当 課	スポーツ振興課		A			
<p>市内高齢者の健康保持に向け、健康クラブの活動の場として市スポーツ施設を提供し、活動内容の充実に向け、講師の派遣を継続的に行う事ができました。また、交歓大会のような大きな事業の参加促進を図るため、市民体育館、市スポーツセンターから会場への移動費の補助を行いました。</p> <p>市内高齢者の健康保持の有効なツールとして、健康クラブの活動の継続に向け、活動場所の提供を行う必要があります。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
加賀地区健康クラブ交歓大会 参加人数		人 / 年	112	— (R2)	150	平成29年度より開催中止となっています
野々市健康クラブ協議会会員数		人	147	132 (R2)	200	若葉健康クラブ 椿健康クラブ

整理番号	3-4-5	競技スポーツの強化のため、体育協会や加盟競技団体への支援とともに企業、民間スポーツクラブ、大学、高校などと連携し、選手の発掘や競技力向上に向けた取り組みを推進します	事業区分(最終評価)			
担 当 課	スポーツ振興課		B			
<p>市内の競技スポーツ団体に対し、競技力の向上に向け、継続的に活動場所の提供、財政的補助を行い、活動に集中できる環境を市体育協会と共に構築し、参加競技の拡大や競技力の向上を行う事ができました。</p> <p>今後も更なる参加競技の拡大や競技力の向上に向け継続的に取組を進めていく必要があります。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
県民体育大会への参加競技数		個 / 年	40	39 (R1)	46	呼びかけなど参加を促した参加競技数
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、夏季大会の事業中止のため、R1年度の数値を記載。						

整理番号	3-4-6	体育協会やスポーツ少年団、認定クラブ、民間スポーツクラブ、高校、大学のスポーツ活動との連携を図り、市民の自主的なスポーツ活動への参画を促します	事業区分（最終評価）
担 当 課	スポーツ振興課		B
<p>体育協会の加盟団体や認定クラブの増加があり、市民がスポーツを行う場の広がりが見えました。市民が自主的にスポーツ活動に参画できるよう、市内でスポーツ活動を行っている体育協会、スポーツ少年団、認定スポーツクラブと連携し、市内でスポーツ活動を行える場の情報提供を継続的に行ってきました。</p> <p>今後は、インターネットも活用し、より多くの市民にスポーツ活動の場の情報提供を継続的に行っていく必要があります。</p>			

整理番号	3-4-7	競技協会が主体となる各種のスポーツイベントなど、 自主運営に向けた取り組みを推進します	事業区分（最終評価）																			
担 当 課	スポーツ振興課		A																			
<p>さわやかスポーツフェスティバル、野々市じょんからの里マラソン大会の開催については、体育協会、スポーツ少年団が主体となり、多くの市民が参加できるよう創意工夫を図りながら企画を行い、参加人数の増加に向けて取り組む事ができました。体育協会、スポーツ少年団事務局運営については市が団体の専任事務員の配置を行い、独立性をもって運用を行うことができました。</p> <p>今後も、市と競技協会が連携、協力し、自主運営に向け、良い経験となるような取り組みを行っていく必要があります。</p>																						
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>さわやかスポーツフェスティバルの参加者数</td><td>人 / 年</td><td>1,728</td><td>1,938 (R1)</td><td>3,200</td><td>各種目の参加者数</td></tr><tr><td>野々市じょんからの里マラソン大会参加者数</td><td>人 / 年</td><td>1,083</td><td>1,012 (R1)</td><td>1,400</td><td>各種目の参加者数</td></tr></table>					成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	さわやかスポーツフェスティバルの参加者数	人 / 年	1,728	1,938 (R1)	3,200	各種目の参加者数	野々市じょんからの里マラソン大会参加者数	人 / 年	1,083	1,012 (R1)	1,400	各種目の参加者数
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明																	
さわやかスポーツフェスティバルの参加者数	人 / 年	1,728	1,938 (R1)	3,200	各種目の参加者数																	
野々市じょんからの里マラソン大会参加者数	人 / 年	1,083	1,012 (R1)	1,400	各種目の参加者数																	
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。																						

整理番号	3-4-8	スポーツ施設の有効利用のため、市スポーツ施設、 学校体育施設の計画的な運用を図ります	事業区分(最終評価)		
担 当 課	スポーツ振興課		A		
<p>利用団体の増加に伴い施設のスケジュール編成が困難になっていますが、それだけ市スポーツ施設、学校体育施設が市内のスポーツ団体に活用されているものと考えられます。学校体育施設の運用では管理者である学校と利用者の解釈の違い等により問題も発生しますが、互いに心地よく運用を行うため、随時運用の変更も行ってきました。</p> <p>市のスポーツ活動の活性化には活動の場の確保が必要となることから、今後も市スポーツ施設、学校体育施設を最大限に、そして計画的に運用していく必要があります。</p>					
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
学校体育施設開放運営委員会	回 / 年	1	1 (R2)	随時	施設の適正な利用を行うため随時開催する。
学校体育施設開放指導員打合せ会	回 / 年	1	1 (R1)	随時	施設の適正な利用を行うため随時開催する。
※【学校体育施設開放指導員打合せ会】R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。					

## ◆ 基本目標3 生涯学習の推進 ◆

## 基本的施策 5 生涯学習環境の整備

## 施策の内容

施設環境の充実、これからの市民の生涯学習を推進するうえで重要な要件であるため、施設の建て替えや、運用方法の改善、新施設整備について検討し、計画的整備を進めてきました。

## 主な成果と課題

整理番号	3-5-1	市民が生涯にわたって自主的な学習活動続ける拠点として、公民館等が十分な機能を保持するよう施設環境の整備に努めます	事業区分（最終評価）			
担 当 課	生涯学習課		A			
<p>富奥公民館（富奥防災コミュニティセンター）やにぎわいの里ののいちカミーノがオープンしました。カミーノの建設は、官民連携によるP F I 方式が採用されました。その他の施設はその都度必要に応じて修繕を行い、施設利用者が問題なく安全に施設を活用できるよう維持管理してきました。</p> <p>今後は、市民の希望や時代の変化に合わせ、時間や空間にとらわれず、「いつでも」「どこでも」「誰でも」学べる機会を創出するため、I C T環境の整備が必要です。</p>						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
社会教育施設等の利用者数		人 / 年	95,784	116,933 (R1)	140,000	各公民館、女性センター
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。						

整理番号	3-5-2	社会教育施設(図書館、公民館、生涯学習センターなど) の計画的整備を推進します	事業区分(最終評価)
担 当 課	生涯学習課		完了
長年、市民に待ち望まれていた新図書館、新中央公民館の二つの施設が整備され、事業が完了しました。 今後は、両施設が常に市民にとって利用しやすい環境であるように、良好な状態を維持していくことが必要です。			

整理番号	3-5-3	文化施設（博物館、美術館など）の 計画的整備を推進します	事業区分（最終評価）
担 当 課	文 化 課		A
<p>文化財施設の今後の管理運営及び整備に関して、北国街道まちづくり基本計画の中で、民間事業者を取り入れた手法を検討しました。</p> <p>今後も市民のニーズに合った設備の充実を図り、文化振興の発展につなげていきます。</p>			



整理番号	3-5-4	スポーツ施設(体育館、武道館、サッカー場など)の 計画的整備を推進します	事業区分(最終評価)
担 当 課	スポーツ振興課		A
<p>平成26年度に中央公園拡張計画基本構想に伴い、新たに整備するスポーツ施設のあり方、また、老朽化が著しい既存のスポーツ施設について修繕や大改修または改修等について検討し、平成27年10月に「野々市市体育施設整備基本計画」を策定し、現在、市で管理運用されているスポーツ施設の再編や、新たに求められるスポーツ施設の構想を掲げています。</p> <p>令和3年度に基本計画をもとに「野々市市体育施設整備実施計画」を策定し、新たなスポーツ施設の整備に加え、健康増進、人的交流、市内防災施設の更なる充実のため、遅延なく事業を進めていく必要があります。</p>			

整理番号	3-5-5	社会体育及び学校体育施設の一般開放など、 住民に開かれた施設活用を推進します	事業区分（最終評価）													
担 当 課	スポーツ振興課		A													
<p>多くの市民に市スポーツ施設や学校体育施設を利用してもらえよう、スポーツ団体の利用を計画的に設定し、個人利用者が優先的に使える日も設定することで、幅広く、有効的な施設の運用を行うことができました。</p> <p>健康志向の高まりから市スポーツ施設の利用を考える市民も多く存在していると考え、新規利用者の拡大に向け、市スポーツ施設の利用を促す情報の発信を行うなど、新たな取り組みを行い、幅広い市民に施設の活用を推進する必要があります。</p>																
<table><tr><th>成果指標名</th><th>単位</th><th>中間評価</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>指標の説明</th></tr><tr><td>一般開放による施設利用</td><td>人 / 年</td><td>419,998</td><td>389,999 (R1)</td><td>450,000</td><td>社会体育及び学校体育施設の一般開放による施設利用者数</td></tr></table>					成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明	一般開放による施設利用	人 / 年	419,998	389,999 (R1)	450,000	社会体育及び学校体育施設の一般開放による施設利用者数
成果指標名	単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明											
一般開放による施設利用	人 / 年	419,998	389,999 (R1)	450,000	社会体育及び学校体育施設の一般開放による施設利用者数											
※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。																

整理番号	3-5-6	新図書館において近隣市町との連携を促進します	事業区分（最終評価）			
担 当 課	生涯学習課		A			
<p>平成29年度に本市と石川中央都市圏に属するすべての市町との相互貸出協定を締結しました。さらに、平成30年度には、川北町とも協定を締結しました。</p> <p>今後は連携市町間での情報交換などを行い、圏域の市民にとってよりよいサービスを実施できるよう検討していく必要があります。</p>						
第3次プランでは、図書館に関する事業を集約し、市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスを充実する事業として統合し、それぞれの事業を引き続き実施します。						
成果指標名		単位	中間評価	現状値	目標値	指標の説明
市外の貸出利用者数		人 / 年	5,765	71,131 (R2)	10,000	新規でかほく市、内灘町、津幡町との相互利用を開始する。